請願第　１　号

米価の回復と価格の安定、
ミニマム・アクセス米の輸入中止を求めることについて

要　旨

今年春以降、０９年産米の市場価格が下落し続けている。米価の回復と価格の安定を図る施策の実施、及び備蓄水準の大幅な引き上げ、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める。

理　由

この数年来、生産費を大幅に下回る米価が続いてきましたが、今年春以降、大手スーパーを中心にした米の安売りの影響もあって、０９年産の市場価格が下落し続けています。

これは、生産者には厳格な計画生産を強いる一方、流通は民間まかせという米政策の結果です。同時に、私たちが一貫して主張してきたように、政府が備蓄古米を売却する一方、適正備蓄水準とする１００万トンを維持してこなかったこと、さらには、国内産の備蓄米の買い入れを拒否しながら、膨大な在庫を抱えているミニマム・アクセス米の輸入を計画通り実施していることが影響していると考えます。９月、１０月の入札で４万トン輸入したミニマム・アクセス米は主として主食用であり、国内産米の需給のゆるみと米価下落に拍車をかけていることは明らかです。

今日の米価水準は、米の再生産を根本から破壊するものであり、その打開は一刻も猶予ならない事態となっています。政府は食糧自給率の向上や戸別所得補償など一定の施策を打ち出していますが、米価を回復させることなくしては、あらゆる施策の成果は期待できません。

以上の趣旨から、下記の事項について政府・関係機関に意見書を提出していただきますよう請願します。

請願項目

１．　生産費を償う米価に回復させ、安定を図る施策を実施すること。
２．　備蓄水準１００万トンに不足する１４万トンの買い入れを即時、実施すること。
　　また、世界的な食糧需給のひっ迫を踏まえ、備蓄水準を大幅に引き上げること。
３．　必要のないミニマム・アクセス米の輸入を中止すること。

平成２１年１１月２４日

請 願 者　　秋田市中通６丁目７－３６
農民運動秋田県連合会
委員長　佐　藤　長右衛門
紹介議員　　佐　藤　文　子

大仙市議会議長　児　玉　裕　一　様